

平成28年度 五泉市生活科部 活動報告

部長 根本 拓也

1 活動主題

- ・ 子どもの思いや願いを生かすための教材研究を推進する。
- ・ 授業研究を通して、指導力の向上を図る。

2 研究の概要

(1) 授業研究	単元名「大すき南小学校」	6月
(2) 教材研究	「さつまいもを使った簡単な料理」	9月
(3) 実技研修	「あきのおもちやづくり」	10月

3 研究の実際

(1) 授業研究

廣野由佳教諭（五泉南小学校）による、公開授業研究を行った。授業者は、1年生の子どもたちが学校の職員のことを知り、かかわっていくことで、よりいっそう子どもたちが楽しい学校生活を送ることができるようになることを考え、子どもたちに学校の職員ともっと仲よしになるためにはどうしたらよいかを話し合わせ、学校の職員へインタビューする質問を考えさせた。「子どもたちへ二段階の発問をする工夫」、「子どもたち同士の対話活動の工夫」の2つの手立てを柱とした実践であった。子どもたちはペアでインタビューの練習をする活動を通して、自分の考えをもったり、その考えに自信をもったりしていた。



(2) 教材研究

昨年度に引き続き、瀬倉みゆき先生（五泉市達人バンク）を講師に迎え、低学年の子どもでも作れる「さつまいものお団子」を教えていただいた。団子作りは低学年の子ども達でも取り組みやすく、また子どもたちが一口で食べやすい大きさを考えながら作る必要があるなど、子どもが考え、秋の食材に親しむ料理のアイデアを教えていただいた。



(3) 実技研修

講師に小熊信二先生・荻野伸也先生（五泉市理科センター）を迎え、身近な自然とのかかわりに子どもたちが関心をもつことに焦点を当て、おもちやづくりの方法を実際に作りながら学んだ。オナモミやアメリカセンダングサを使った的当てゲーム、松ぼっくりを使ったけん玉、どんぐりを使ったこまやヤジロベーなどの工作の指導法を教えていただいた。理科センターにあるどんぐり穴あけ器を使用すれば低学年の児童でも穴が開けやすく、グルーガンも火傷に気を付ければ思い通りの工作ができるため、大変有意義な研修となった。



4 成果と課題

「子どもの思いや願いを生かすための教材研究を推進する」ために、講師の先生から自然とかかわったり、親しんだりすることができる教材を紹介していただき実技研修ができたことで、大変実りのある研修となった。また、授業研究では、子どもたちが様々な人とかかわり、より学校生活に親しんでいくための効果的な手立てを提案していただいた。

今後とも、教材開発と指導法の改善の両面から研修を進め、指導力の更なる向上を図っていく。→教材研究・教材開発 ←と記載いただきましたが、どのようにすればよいでしょうか？